

1 単元 「みんなわくわくオータムパーティー」をひらこう

2 単元の目標

「みんなわくわくオータムパーティー」をひらくために、友達や身近な人とかかわりながら活動することの楽しさや、自分の役割を果たすことの喜びに気付くことができる。

3 身に付けさせたいキャリア能力

♠自分を見つめる力	♥共に歩む力	♣行動する力	◆将来を見据える力
自分に合った役割を選択し、「オータムパーティー」に向けて、取り組むことができる。	相手を思い浮かべながら「オータムパーティー」をひらくために友達と協力して活動し、お互いのがんばりを認めることができる。	「オータムパーティー」に必要なものは何かを考え、意欲的に自分の役割を果たすことができる。	「オータムパーティー」で大切にしてきた人とかかわりを広げていこうとする気持ちをもつことができる。

4 単元について

- ・ふたば学級（知的障害）の子どもたちは、作って食べる活動が大好きである。前単元「元気もりもりサマーパーティー」では、グループでオリジナルレシピを考えて「元気もりもりカレー」を作る活動に意欲的に取り組むことができた。しかし、能力差が大きく自分でやろうとはするが、うまくいかずに人任せになってしまう児童が多かった。
- ・季節ごとにひらくパーティーは、基本パターンに沿って計画することができ、子どもたちにとっては、見通しのもてる取り組みやすい学習活動である。自分たちで選択したり、工夫したりしなければならない場面も多く、子どもたち同士、協力し合って進めることが求められる。また、調理でもてなすという側面もあり、子どもたちが興味をもって取り組むことができる。
- ・本単元では、大豆がいろいろな食品に加工される過程を、「大豆の観察」「調べ学習」「インタビュー」「味噌工場の見学・体験」など、様々な角度から捉えることができるようにする。また、それを調理と結びつけることで、子どもたちが興味を持続し、主体的に活動できるようにしていきたい。学習を通して、子どもたちが多くの人たちとふれ合い、コミュニケーションの力を伸ばしていくと共に、学習で得た調理にかかわる知識や技能を、生活で生かせるようになることを願っている。

5 キャリア能力を育むための工夫

- ♠ 個々の能力に合った役割を選ぶことができるようにすると共に、活動前に一人一人の役割や目標を確認する。
- ♥ 活動に合わせて取り組みやすいグループやペアを組み、協力できるようにする。
- ♣ 個々に合った教具や方法を工夫して提示し、主体的な活動を促す。
- ◆ 「わくわくシート」でかかわった人の記録を積み重ね、振り返る機会を設ける。

時間	児童の活動	
5	1. オータムパーティーの日時や招待する友達を確認する。	
30	2. 作り方と自分の役割を確認する。	
	3. ペアで協力して調理をする。 ①ボウルに卵を溶きほぐす。 ②牛乳、サラダ油を入れる。 ③よく混ぜる ④ホットケーキミックスと大豆の加工食品を入れて混ぜる。 ⑤生地を型に半分入れる。 ⑥レンジで加熱する。	
	7	4. 実食して、感想やがんばったことを発表する。
	3	5. 次時に、パーティーで作る蒸しパンをみんなで決めることを知る。

6 指導計画（20/30～24/30 時間）

時間	学習内容	見つめる	共に歩む	行動する	見据える
1	パーティーの内容を話し合い、準備の仕事を分担しよう（合同）	♠	♥		
3 本時（3/3）	分担した準備の仕事をしよう（各学級）		♥	♣	
1	発表し、みんなの意見を聞こう（合同）		♥		♦

7 本時の目標（♣は、キャリア教育の視点）

- ・「オータムパーティー」をひらくために大豆の加工食品入り蒸しパンを作ることができる。
- ♣大豆の加工食品入り蒸しパン作りでの自分の役割を自覚し、活動することができる。

（行動する力）

8 本時の学習

教師の支援			
A児（1年）	B児（4年）	C児（2年）	D児（6年）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カレンダーを使って「あと何日か」を数えたり、招待する友達の写真を示して、名前を確かめたりすることによって、オータムパーティーへの期待感を高めることができるようにする。</li> <li>・学級の役割を思い出せるように、前時の調理の様子を写真で提示する。</li> <li>・大豆の加工食品を入れることを意識できるように、「へんしんダイズマン」を用意する。</li> </ul>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     「へんしんダイズマン（大豆の加工食品入り）の蒸しパン」を作ろう                 </div>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業工程が分かるように、基本のレシピを黒板に掲示する。</li> <li>・調理がしやすいよう、大豆の加工食品別のペアになり前時に決めたことを確認できるようにする。</li> <li>♣ペア専用のレシピには担当する作業に顔写真を貼り、自分の作業を確認しやすいようにする。</li> <li>・「溶きほぐす」「加熱する」など、レシピの中の言葉と動作が一致できるように、言葉を言いながら動作をするよう声かけをする。</li> <li>・調理中、分からない時には「教えてください」と言うように声かけをする。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>♣自分や友達の役割を把握し、協力して調理をするために、作業ごとにレシピの役割分担を確認するよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>♣調理中、困ったことが起きた場合に提示できるように、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">?</span>カードを用意しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>♣見通しをもって集中して作業ができるよう、やり終えた作業には印を付けることを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>♣ペアの友達と協力し、自分たちの手で調理ができるよう、少し離れたところから見守る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表した後に、教師からも具体的な姿を伝えて称賛する。</li> <li>・今までに作った蒸しパンの写真を提示することにより、次時への意欲を高める。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オータムパーティー」をひらくためにおから入り蒸しパンを作ることができたか、活動の様子から判断する。</li> <li>♣大豆の加工食品入り蒸しパン作りでの自分の役割を自覚し、活動することができたか、活動の様子から判断する。<span style="float: right;">（行動する力）</span></li> </ul>			

1 単元 「みんなわくわくオータムパーティー」をひらこう

2 単元の目標

「みんなわくわくオータムパーティー」をひらくために、友達や身近な人とかかわりながら活動することの楽しさや、自分の役割を果たすことの喜びなどに気づくことができる。

3 身に付けさせたいキャリア能力

♠自分を見つめる力	♥共に歩む力	♣行動する力	◆将来を見据える力
自分に合った役割を選択し、「オータムパーティー」に向けて、取り組むことができる。	相手を思い浮かべながら「オータムパーティー」をひらくために友達と協力して活動し、お互いのがんばりを認めることができる。	「オータムパーティー」に必要なものは何かを考え、意欲的に自分の役割を果たすことができる。	「オータムパーティー」で大切にしてきた人とかかわりを広げたいこうとする気持ちをもつことができる。

4 単元について

- ・みどり学級（自閉・情緒障害）の子どもたちは、個々の障がいや能力に差があるものの、前単元のサマーパーティー（カレー作り）」では、教師にカレーの具についてインタビューしたり、パーティーへの招待状を書いて渡したりと、人とかかわる活動を楽しく行うことができた。
- ・季節ごとにひらくパーティーは、基本パターンに沿って計画することができ、子どもたちにとっては見通しのもてる取り組みやすい学習活動である。自分たちで選択したり、工夫したりしなければならない場面も多く、子どもたち同士、協力し合って進めることが求められる。また、招待状の紙を漉いたりビデオレターを作成したりする活動を取り入れることで、招待する人に思いをはせ、かかわりを深めていくことができるという利点もある。
- ・本単元では、大豆がいろいろな食品に加工される過程を、「育てている大豆の観察」、「本やインターネットを使った調べ学習」、「身近な人へのインタビュー」、「味噌工場の見学・体験」など、様々な角度から捉えることができるようにする。また、梨作りを通して、日頃から交流している他校の友達をパーティーに招待するという活動に大豆の学習を結びつけることで、子どもたちが興味を持続し、主体的に活動できるようにしていきたい。学習を通して多くの人たちとふれ合い、コミュニケーションの力を伸ばしていくとともに、身に付けた力を、生活場面で発揮できるようになることを願っている。

5 キャリア能力を育むための工夫

- ♠ 個々の能力に合った役割を選ぶことができるようにすると共に、活動前に一人一人の役割や目標を確認する。
- ♥ 活動に合わせて取り組みやすいグループやペアを組み、相手や自分の思いを大切に、協力できるようにする。
- ♣ 個々に合った教具や方法を工夫して提示し、主体的な活動を促す。
- ◆ 「わくわくシート」でかかわった人の記録を積み重ね、振り返る機会を設ける。

時間	児童の活動
5	1. 前時までを振り返り、オータムパーティーの日時や招待する友達を確認する。
5	2. 本時の活動を知り、作業の説明を聞く。
20	3. 紙漉きをする。 【工程】 ①網でこす。 ②飾りをつける。 【工夫できるところ】 ・お花紙で色をつける。 ・茶臼山で拾った落ち葉をのせる。
10	4. 知立小学校の友達にあててビデオレターを作る。 ・紙漉きをしたこと。 ・がんばったこと。
5	5. 活動を振り返る。 ・作ったビデオレターを見る。

6 指導計画 (20/30～24/30 時間)

時間	学習内容	見つめる	共に歩む	行動する	見据える
1	パーティーの内容を話し合い、準備の仕事を担当しよう (合同)	♠	♥		
3 本時 (3 / 3)	分担した準備の仕事をしてよう (各学級)		♥ ♥	♣	
1	発表し、みんなの意見を聞こう (合同)		♥		♦

7 本時の目標 (♥は、キャリア教育の視点)

- ・知立小学校の人たちへ送るための招待状の紙を、手順に従って漉くことができる。
- ♥送る相手を思い浮かべながら、心をこめて活動することができる。(共に歩む力)

8 本時の学習

教師の支援				
A児 (1年)	B児 (3年)	C児 (4年)	D児 (4年)	E児 (6年)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動中の写真を提示し、活動の足跡がわかるようにする。</li> <li>・知立小学校の人たちの顔写真を提示し、一人ずつ名前を聞く。また、梨園や茶臼山で誰と活動したかをたずねることにより、招待状を作ろうとする意欲を高める。</li> </ul>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「みんなわくわくオータムパーティー」の招待状の紙を作ろう</div>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的に理解できるように、作業の流れや注意点を絵と簡単な言葉で表示す。</li> <li>・見通しをもって活動できるように、教師が作業の手本を見せる。</li> <li>・お互いの作業を見合って協力して取り組むことができるように、二つのグループに分ける。</li> <li>・工夫する内容を選択しやすいように、机上に数種類の材料を準備する。</li> </ul>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">紙漉きをしたことを知立小学校の友達に知らせよう</div>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立小学校の友達に、ビデオレターで紙漉きをしたことを知らせると伝え、頑張ったことを話そうとする意欲を高める。</li> <li>♥相手を意識した話ができるように、カメラの横に顔写真を置いたり、「〇〇君」と呼びかけてから話を始めるように促したりする。</li> <li>・話すときの助けとするため、簡単な話型を提示する。</li> </ul>				
♥気持ちを引き出せるように教師が寄り添い、一緒に話す。	♥気持ちを引き出せるように、言葉に詰まったときに寄り添い、一緒に話す。	♥2・3文の話型を示し、見ながら話すよう促す。気持ちが伝えられるように、声が小さいときに「もう一度伝えよう」と言ったり、カメラを見ながら話すよう声をかけたりする。	♥表情豊かに、元氣よく話せるように声をかける。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのがんばりを称賛する。</li> </ul>				
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立小学校の人たちへ送るための招待状の紙を、手順に従って漉くことができたか、作業の様子から判断する。</li> <li>♥送る相手を思い浮かべながら、心をこめて活動することができたか、活動の様子や振り返りから判断する。(共に歩む力)</li> </ul> </div>				

## わかば・あおば組 生活単元学習指導案

### 1 単元 「みんなわくわくオータムパーティー」をひらこう

#### 2 単元の目標

- ・「みんなわくわくオータムパーティー」をひらくために、友達や身近な人とかかわりながら活動することの楽しさや、自分の役割を果たすことの喜びなどに気付くことができる。

#### 3 身に付けさせたいキャリア能力

♠自分を見つめる力	♥共に歩む力	♣行動する力	◆将来を見据える力
自分に合った役割を選択し、「オータムパーティー」に向けて、取り組むことができる。	相手を思い浮かべながら「オータムパーティー」をひらくために友達と協力して活動し、お互いのがんばりを認めることができる。	「オータムパーティー」に必要なものは何かを考え、意欲的に自分の役割を果たすことができる。	「オータムパーティー」で大切にしてきた人とかかわりを広げていこうとする気持ちをもつことができる。

#### 4 単元について

- ・わかば学級（知的障害）の子どもたちは、言葉では自分の思いをうまく伝えることができないが、どの子も一生懸命に意思表示をし、かかわりをもとうとする。あおば学級（肢体不自由）の子どもも同様で、自分のできる動作や表情で、友達との交流を楽しんでいる。そんな子どもたち、共通の興味・関心は、学級園で育てた大豆にあり、大豆を使って料理を作り、みんなで食べることがよく話題に上っている。
- ・季節ごとにひらくパーティーは基本パターンに沿って計画することができ、子どもたちにとっては見通しのもてる取り組みやすい学習活動である。自分たちで選択したり、工夫したりしなければならない場面も多く、子どもたち同士、協力し合って進めることが求められる。また、招待する人に思いをさせ、かかわりを深めていくことができるという利点もある。
- ・本単元では、大豆がいろいろな食品に加工される過程を、「育てている大豆の観察」「本やインターネットを使った調べ学習」「身近な人へのインタビュー」「味噌工場の見学・体験」など、様々な角度から捉えることができるようにする。また、梨作りを通して、日頃から交流している他校の友達をパーティーに招待するという活動に大豆学習を結びつけることで、子どもたちが興味を持続し、主体的に活動できるようにしていきたい。学習を通して、多くの人たちとふれ合い、コミュニケーションの力を伸ばしていくとともに、身に付けた力を、生活場面で発揮できるようになることを願っている。

#### 5 キャリア能力を育むための工夫

- ♠ 個々の能力に合った役割を選ぶことができるようにすると共に、活動前に一人一人の役割や目標を確認する。
- ♥ 活動に合わせて取り組みやすいグループやペアを組み、相手や自分の思いを大切に、協力できるようにする。
- ♣ 個々に合った教具や方法を工夫して提示し、主体的な活動を促す。
- ◆ 「わくわくシート」でかかわった人の記録を積み重ね、振り返る機会を設ける。

時間	児童の活動
5	1. 前時までを振り返り、「オータムパーティー」の日時や招待する友達を発表する。
5	2. 「へんしんダイズマン」が何に変身するのか確認する。
20	3. 「だいずのうた」の歌詞・ダンス・リズム伴奏をつくる。 (1) 自分の役割を確認する。  (2) 小グループで協力して作業をする。 ① 歌詞づくり →歌詞カードづくり ② ダンスづくり →手具づくり ③ リズムづくり →楽器づくり
10	(3) グループごとに活動の状況を発表する。
5	4. 全員で「だいずのうた」を合わせる。

6 指導計画 (20/30~24/30 時間)

時間	学習内容	見つめる	共に歩む	行動する	見据える
1	パーティーの内容を話し合い、準備の仕事を分担しよう (合同)	♠	♥		
3 本時 (3/3)	分担した準備の仕事をしよう (各学級)		♥	♣	
1	発表し、みんなの意見を聞こう (合同)		♥		♦

7 本時の目標 (♣は、キャリア教育の視点)

- ・「オータムパーティー」をひらくために「だいずのうた」を意欲的につくることができる。
- ♣「だいずのうた」づくりでの自分の役割を自覚し、活動することができる。(行動する力)

8 本時の学習

教師の支援						
A児 (6年)	B児 (1年)	C児 (2年)	D児 (3年)	E児 (4年)	F児 (3年)	G児 (3年)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カレンダーを使って「あと何日か」を数えたり、招待する友達の写真を示して、名前を確かめたりすることによって、オータムパーティーへの期待感を高めることができるようにする。(T1)</li> <li>・子どもたちの自作のキャラクターを提示し、変身の様子がイメージできるようにする。(T1)</li> <li>・わかば、あおば組の役割が「だいずのうたづくり」であることを確認できるよう、パーティーの役割分担表を提示する。(T1)</li> </ul>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「だいずのうた」をつくろう</div>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の3つの役割(作業内容)を具体物や動作で視覚的に分かりやすく説明する。(T1)</li> <li>♣自分で選択した役割を一人一人に確認し、活動への見通しを持つことができるようにする。(T1)</li> </ul>						
歌詞づくり		ダンスづくり		リズム伴奏		
♣音符の下に文字を記入できるワークシートを用意する。(T1)	♣大豆からできる食品カードを提示し、歌詞の中に取り入れたいものを選ぶことができるようにする。(T1)	♣数種類の基本動作を初めに確認し、基本動作を示したカードを順に組み合わせることで、一つのダンスに仕上げることを伝える。(T2)	♣リズムパターンを把握しやすいように、簡単な言葉を当てはめるよう伝える。(T3)	♣動かしやすく、鳴らしやすいように楽器を工夫する。(T3)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・良かった点を認め合うことができるような発言を促す。(T1)</li> <li>・教師も共に参加し、楽しい雰囲気の中で、今後の活動への意欲を高めることができるようにする。(T1・T2・T3)</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オータムパーティー」をひらくために「だいずのうた」を意欲的につくることができたか、発言や活動の様子から判断する。</li> <li>♣「だいずのうた」づくりでの自分の役割を果たすことができたか、活動の様子から判断する。(行動する力)</li> </ul>						